

第2回 発動分子科学サロン「発動分子と分子集合体」

日時 2022年12月20日(火) 15時30分から

場所:東京工業大学すずかけ台キャンパス S8 レクチャーホール (ハイブリット聴講可能)

(<https://www.titech.ac.jp/0/maps/suzukakedai>)

15:30—15:35 開会挨拶

15:35—16:20 窪田 亮 先生(京都大学)

講演タイトル: 生物からインスパイアされた多成分・非平衡系超分子ソフトマテリアルの開発

概要: 生物の体表模様や組織は、物質の反応と拡散が密接に関与する反応拡散系を基盤メカニズムとして形成することが知られている。本講演では、生物の模様形成から着想した多成分系超分子ヒドロゲルの動的・静的パターン形成に関する我々の成果を報告する。

16:20—17:05 安原 主馬 先生(奈良先端大)

講演タイトル: 合成高分子で膜タンパク質をつくる

概要: 生体膜が担う多様な細胞機能は、脂質二分子膜と膜タンパク質がダイナミックに連携・協働することで実現している。本講演では、膜タンパク質に共通してみられる両親媒性モチーフをヒントとして、人工分子をデザインすることで、生体膜との相互作用に立脚した生体機能の誘導をめざした研究事例を紹介する。

17:05—17:10 閉会挨拶